

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		さわやか愛の家 くるめ館			公表日		2026年 2月 20日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		5		バギーや机と椅子、荷物の配置を工夫し広く使える空間を作っております。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		5		職員が必ず見守りできるよう、その場を離れる時には他の職員に声かけを行いながら支援をしております。	現在5名体制で運営を行っております。安全にお子様をお受けできるよう、保育士などの増員も考えてまいります。		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		4	1	ユラックの導入により安全に入浴できるように配慮しております。	一部差があるところがある為、転倒予防としてバリアフリー化が求められます。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		5		お子様が帰宅後毎日清掃を行っており、毎日過ごしやすい環境作りを行っております。	人数や活動によっては十分ではないと感じられる部分もございます。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		5		お子様の特性に応じて個室を用意するなど環境調整を行っております。	個室やパーテーションなどを用いてお子様が過ごしやすい環境調整を今後も行ってまいります。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		5		研修や事業所内での話し合いなど行い、情報共有に努めております。	日々、業務改善に努めておりますが、不十分な部分もある為、今後も情報共有を行いながら取り組んでまいります。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		5		保護者の方からの要望や注意点は記録に残し、職員で共有しております。	定期的にアンケートはがきを配布しております。ご意見ご要望等を真摯に受け止め業務改善に努めてまいります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		5		問題点などはその都度職員一同で話し合える機会を設けております。	引き続き、支援の振り返りやミーティングを行ない、問題点の抽出、業務改善に努めてまいります。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			5	事業所としては外部評価を行っておりませんが、本社による内部監査を定期的に行っております。	本社による内部監査は行われておりますが、第三者による外部評価は事業所単位では行われておりません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		5		月1回のスキルアップ研修や事業所内研修を行ないスキルアップに努めております。	スキルアップ研修や事業所内研修を通して能力向上を図り支援の質の向上につなげていくことができるよう取り組んでまいります。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		5		児童福祉法に沿って支援プログラムを作成、公表させていただいております。	HPにて公表をさせて頂いております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		5		アセスメントシートや面談により、ニーズや課題を評価し作成しております。	お子様や保護者の方とアセスメントシートを用いながらニーズや課題を共有し放課後等デイサービス計画を作成しております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		5		職員全員で話し合いを行ない支援の計画を作成しております。	引き続き、お子様や保護者の方の意見を取り入れながら計画書の作成を行っております。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		5		計画書を確認し、支援方法を統一しております。	引き続き、職員間で計画書の情報共有を行ないながら、計画に沿った支援を行うことができるよう取り組んでまいります。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		5		アセスメントシートを活用し支援に活かしております。	アセスメントシートを用いながら、保護者の方や職員間で共有し支援に取り組んでまいります。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		5		ガイドラインにそって計画書を作成しております。	家庭、事業所のみならず、地域の資源を活用しながら連携を深めてまいります。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		5		お子様が楽しみながらできる活動を取り入れております。	5領域に沿って職員間で話し合いながら活動を立案しております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		5		季節や行事が感じられる活動を取り入れております。	外出レクや季節を感じられる活動など、マンネリ化しないよう引き続き工夫してまいります。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		お子様の状況に合わせて、活動内容を変更しております。	機能訓練指導員が個別に専門的支援を行っております。引き続き個別活動や集団活動を組み合わせながら支援を行っております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		毎朝その日ご利用されるお子様や活動内容、役割分担の確認を行ないながら取り組んでおります。	毎朝ミーティングを行ない、支援内容や役割分担の確認、保護者の方からの連絡内容の共有を行ないながら取り組んでおります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	事業所内での活動や外出レクの内容は書類を用いて振り返りを行っております。	引き続き、その日にあった出来事を職員間で共有しながら支援を行っております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		日々の記録を必ずその日に職員全員で確認し、情報共有に努めております。	記録に関しては必ずその日に記入し職員間で情報共有を行ないながら支援の改善に努めてまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		最低でも6ヶ月に一回、保護者の方との話し合いの場を設け計画書の見直しを行っております。	送迎の際にも保護者の方との情報共有を行ないながら、必要に応じて見直しを行っております。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		4つの基本活動を複数組み合わせながらお子様一人ひとりにあった活動を行っております。	今後は地域交流を積極的に行っていきたいと考えております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促す力を育てるための支援を行っているか。	5		活動で使用する物やおやつは、子どもたちが自己決定できるよう選択肢を提示しながら支援をしております。	有効なツールを用いながらお子様が自己選択、自己決定できる機会を増やしております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		会議にあわせ管理者以外も参加させていただいております。	引き続き、会議に積極的に参加し、情報共有を行ないながら、支援の改善に努めてまいります。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	3	機能訓練指導員が他サービス機関に見学や相談しながら連携して支援を行っております。	また十分ではない為、他サービス機関と情報共有を行ないながら、連携して支援を行って参ります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		送迎の時に先生と情報共有を行ったり、事業所内ではホワイトボードを利用し職員全員が把握できるようにしたりしております。	引き続き、学校お迎えの際に担任の先生と情報共有を行ないながら、取り組んでまいります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	4	関係機関と連携を取りながら情報共有に努めております。	今後連携を取りながら支援の改善に努めてまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	4	現在のところ学校を卒業した児童がおりません。	福祉サービスへの移行はまだ行っておりませんが、移行の際には情報の共有を行っていきたくと考えております。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3	管理者や児発管のみではなく、指導員の参加を促し、職員のスキルアップを目指しております。	地域の中での役割を果たすことができるよう、態勢を強化してまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	系列事業所とBBQや夏祭りを行ない、交流する機会を設けております。	地域のお子様達との活動を行なうことができるように外出レクなど改善していきたくと考えております。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4	現在のところ参加しておりません。	地域のニーズ等を知る上でも協議会等への参加を行っております。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		連絡帳以外にも、送迎時に保護者の方と情報共有を行っております。	事業所での日々の様子を写真を用いて伝えさせていただいております。また送迎時にも保護者の方との情報共有を行っております。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	支援方法を保護者の方と一緒に考える機会を設けております。	まだ十分に機会を設けることができおりません。今後は計画的にそのような機会を企画してまいります。
関係機関や保護者との連携	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		ご契約時に利用契約書・重要事項説明書について詳しくご説明をさせていただいております。	引き続き、多様な手法にて情報が確実に届く体制作りに取り組んでまいります。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		保護者の方やお子様と情報共有を行ないながら、計画書の作成を行っております。	より一層、最善の利益の保障の為に、意見を聞く機会を増やしてまいります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		放課後等デイサービス計画書を用いて支援内容の説明をさせて頂いております。	放課後等デイサービス計画を示しながら、より分かりやすく詳しく説明させていただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		定期的に面談の場を設けていただいております。	保護者の方や学校等、気軽に相談できるような体制作りを行っております。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5		イベント時に保護者の方向士が交流できる時間を設けております。	まだ十分に機会を設けることができておりません。今後は計画的にそのような機会を企画してまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		問題解決に向けて意見を真摯に受け止め改善に努めてまいります。	引き続き対応体制の強化を行ない、法人全体での公開を行なうことが出来るよう体制作りに取り組んでまいります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		ブログ、instagramの投稿やHUGシステム導入によりその日の様子を写真付きで保護者の方に伝えさせていただいております。	今後もより伝わりやすい方法を模索してまいります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報の取り扱いについては十分注意を行なっております。	個人情報の取り扱いには十分注意し、ご安心してご利用できるよう方針を強化してまいります。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		口頭だけではなく、有効なツールを用いて意思の疎通や情報伝達の配慮を行なっております。	コミュニケーションの技能の習得を行ない、幅広いニーズにこたえることができるよう体制を整えてまいります。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1	保護者の方だけではなく、地域の方もお招きして写真展などのイベントを行ってまいります。	地域と密接にかかわることが出来るよう、事業所のイベントを企画してまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		定期的に訓練を実施しております。	より実践的な訓練を実施し、ブログや連絡帳を通して周知してまいります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		地震や風水害などを想定した訓練を実施しております。	BCPは策定しており、引き続き定期的に避難訓練・研修等を行なっております。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		職員間で情報共有しております。	契約時や、定期的なモニタリングにより確認を行なっております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		職員全員でアレルギーの把握し、医師の指示に基づき対応させていただいております。	調理場や提供状況を整備し、アレルギーの方の受け入れについても万全に整えてまいります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		月に1回、安全計画の研修や訓練を行い、安全管理を十分に行いながら支援を行っております。	定期的に安全計画の見直しを行ない、研修や訓練を通してより安全にご利用いただける環境作りに取り組んでまいります。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		事業所内で誰でも閲覧できるよう保管しており、HPにも掲載しております。	HPへの公開だけではなく、資料の配布等により把握していただけるよう取り組んでまいります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハットの再発防止として職員全員が検討話し合いを行なっております。	ヒヤリハットの共有、分析、対策を強化し、安全対策の為の体制を整えてまいります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		重症心身障害を対象としており、脱臼リスク、骨折リスクが高い為、それに対する研修を行っております。	虐待防止ポスターの掲示も含め、職員全員で虐待防止に努めてまいります。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		5	万が一、やむを得ない場合で身体拘束が必要な事象が起こった場合、「3.要件にあてはまる緊急やむを得ない場合」に該当するかを確認し身体拘束基準マニュアルに則り対応を行ってまいります。	身体拘束を行なっていない為、計画に記載しておりませんが、今後もしもの時を考えて記載を検討していきたいと考えております。	